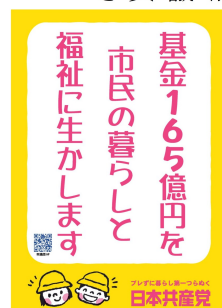




〈6月定例会〉河合かつぺい議員の一般質問 基金165億円をくらし福祉に生かして

愛西市議会6月定例会での日本共産党の河合かつぺい議員の一般質問について紹介します。



(河合かつぺい議員) 令和8年度の予算編成で、くらし福祉教育防災をけずり、市民に冷たい市政運営へと大きく舵を切った。基金約165億円をくらし福祉教育のために生かす市政運営が必要だ。

(総務部長) 年度内に収入される財源だけでは市政運営が困難な状況が続いている。基金に依存した財政運営は持続可能とはいえない。歳入に見合った事業の見直しや重点化、効率化などを進め、自主財源の確保に一層取り組む。

市民のくらし福祉教育防災が最優先となる市政運営を



①学校給食の完全無償化を(河合議員) 周辺自治体では、国の補助金を活用し、無償化を行う自治体が多い中、愛西市は、9月より小学生は月400円、中学生は月4500円負担増となる。学校給食の完全無償化を行う考えは。(学校教育課長) 学校給食費の保護者負担額については、教育事業全般に係



る事業費を総合的に勘案して算定した。9月分以降の給食費の無償化は考えてない。

②佐屋小学校の校舎改築を早急に

(河合議員) 佐屋小学校の校舎老朽化対策の、改築を早期に進める考えは。(学校教育課長) 近年の物価上昇及び人手不足に伴い、5月8日の教育委員会において、改築後の佐屋小学校校舎の供用開始年度の目標設定など、見直すことを決定した。

③小学校体育館にエアコン設置を

(河合議員) 夏の暑さから子どもの命を守るために小学校体育館のエアコン設置についての市の考えは。(学校教育課長) 現時点において、小学校に整備する考えはありません。

④子どもインフルエンザ接種助成を



(河合議員) 子どもインフルエンザワクチン予防接種の助成は、隣接する自治体で行っている。市で行う考えは。(健康子ども部長) 予防接種種法に位置づけるものを対象としていくことから、実施予定はありません。

⑤公共施設等個別施設計画で廃止の計画となっている施設について存続を

(河合議員) 特に防災コミュニティセ

ンターは、それぞれの地域の住民活動の点であり、地域の防災拠点だ。管理費は全体では5253万円の予算。コミュニティセンターを存続する市の考えは。

(総務部長) 現在のところ、それぞれの施設における用途変更や地域移管の具体的な手法、あるいは実施時期などは、具体的に決定してない。廃止の方向性にある施設は、将来に向けて施設の長寿命化や建て替えをしない方針で進めている。除却だけでなく譲渡も含め検討している。

⑥佐屋北保育園跡地に複合施設を

(河合議員) 跡地は、地域の唯一の避難場所に指定されています。佐屋小学校区の児童クラブは、2年生でも入れない状況です。跡地に学童保育を開設し、地域住民の憩いの場になる複合施設とすることが必要です市の考えは。(健康子ども部長) 民間事業者の提案を公募できるように準備を進めております

⑦国民健康保険・介護保険の負担軽減

(河合議員) 国民健康保険税は、愛知県下で3番目に高い健康保険税になった。負担軽減を求める。(保険福祉部長) 県の標準税率へ統一する方向で検討。市独自の減免を行う予定はなし。

(河合議員) 第10期介護保険料について、準備基金を活用し負担軽減を。(保険福祉部長) 介護保険制度の安定

的な運営と次世代への責任、負担軽減等に配慮して運営を行う。

⑧高齢者が生き生きとして住み続けられる愛西市を

(河合議員) 愛知県下で30自治体が助成を行っている。認知症の予防になる高齢者補聴器購入助成制度を実施を。(保健福祉部長) 現時点では、助成の実施は考えておりません。

(河合議員) 後期高齢者福祉医療制度の一人ぐらし高齢者窓口無料の存続を。(保健福祉部長) 社会情勢や他市の状況等を踏まえ、事業の見直しを行った。(河合議員) 敬老祝い金、ダイヤモンド婚のお祝いの復活を求める。(保健福祉部長) 元氣な高齢者が増え、市としての取り組みを見直した。

⑨誰もが安心して住み続けられる市を

(河合議員) 「精神障害者入院医療費助成の復活」「在宅障害者扶助料を元に戻すこと」「原子爆弾被爆者健康管理手当を元に戻すこと」を求める。(保険福祉部長) 現時点で見直しは考えない。

(河合議員) 0・2歳児の保育料の値下げと、18歳未満の多子世帯の保育料の無償化を求める。(健康子ども部長) 保育料の値下げと無償化の予定はありません。

市民の命と暮らしを守る
コミュニティセンターを弱す
国保・介護の負担軽減
補聴器購入に補助
予防接種に助成
学校給食無償化
日本共産党